

認知症と共に生きる 社会を目指して

令和6年 **12月15日(日)**

(午後の部のみ後日オンデマンド配信予定)

◆会場/ひだホテルプラザ 高山市花岡町2-60



【午前の部】 11:00~12:30 (受付開始10:30) 3階 布袋の間 定員45人

オレンジカフェ(乗鞍)

参加無料

認知症の方や家族の方、認知症に興味のある方もそうでない方も、
みんなで集まり、悩みを相談したり情報交換したり、お話しを楽しみませんか？
協力:(公社)認知症の人と家族の会岐阜県支部、高山市、高山市地域包括支援センター、
飛騨市、下呂市、須田病院認知症疾患医療センター ほか

【午後の部】 13:30~16:00 (受付開始13:00) 3階 祭の間 定員150人

入場無料

手話通訳・要約筆記があります

基調講演 『アルツハイマー病新薬登場で変わること・変わらぬこと』

講師: 神戸大学大学院保健学研究科 教授 **古和 久朋**

略歴 1995年東京大学医学部医学科卒業後、東大附属病院などで初期・後期研修の後、2000年に
東京大学大学院に進学、アルツハイマー病を中心とした神経変性疾患の研究に従事し、2004年に修
了した。2005年より3年間マサチューセッツ総合病院アルツハイマー病研究室に留学。帰国後、東大
神経内科特任助教を経て2010年4月より神戸大学神経内科講師、2012年1月より神戸大学神経内
科准教授、2017年1月より現職。研究科内に認知症予防の研究と社会実装を進める認知症予防推進
センターを設立し、2021年より同センター長を兼務



パネルディスカッション 『認知症と共に生きるフレンドリー社会を目指して』

コメンテーター: 古和 久朋 (神戸大学大学院保健学研究科 教授)

パネリスト: 街のみんなとKaigoカフェで創造する認知症フレンドリーなまちづくり (介護老人保健施設アルカディア 係長 山越 博正)
認知症フレンドリー社会の実現に向けた高山市の取組について (高山市市民福祉部長 石腰 洋平)
生きがいと未来をつくる 産業と福祉の取組 (木と暮らしの制作所 取締役 松原 千明)
同上 (共同発表) (喜林グループ 経営企画部 就労継続支援B型 ディーセントワークきりん 責任者 岩本 奈々)
認知症の人が暮らしやすい地域のコミュニティづくり (特定非営利活動法人ほのぼの朝日ネットワーク 理事長 高井 優)

主催/岐阜県医師会、岐阜県

後援/岐阜県歯科医師会、岐阜県薬剤師会、岐阜県看護協会、岐阜県居宅介護支援事業協議会、岐阜県グループホーム協議会、
岐阜県社会福祉協議会、岐阜県地域包括・在宅介護支援センター協議会、岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会、
認知症の人と家族の会岐阜県支部、岐阜県老人福祉施設協議会、岐阜県老人保健施設協会

お問合せ・お申込先 岐阜県医師会「12/15 認知症 県民健康セミナー」係

〒500-8510 岐阜市葦田南3-5-11 / TEL:058-274-1111 / メール: gifumed@gifu.med.or.jp

詳しくは裏面をご覧ください。

【行事名】

岐阜県認知症理解普及講座

【期間】

12月15日(日)

【場所】

ひだホテルプラザ

【主催】

岐阜県医師会、岐阜県

【情報保障】

手話通訳 あり

【事前申込】

必要